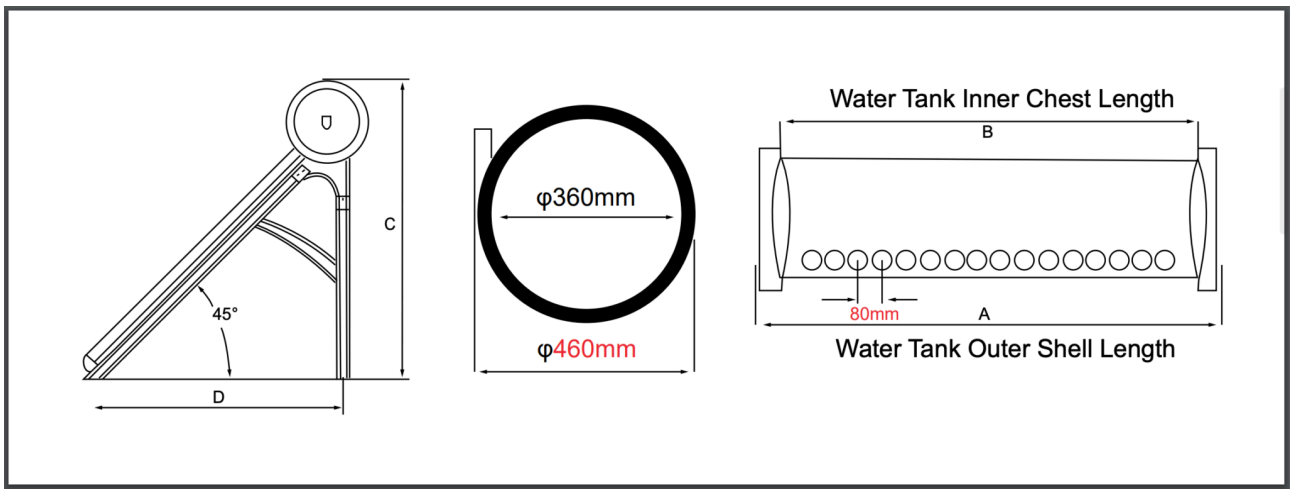
合同会社NITOCRAFT
太陽熱温水器　仕様書・使用説明書

目次

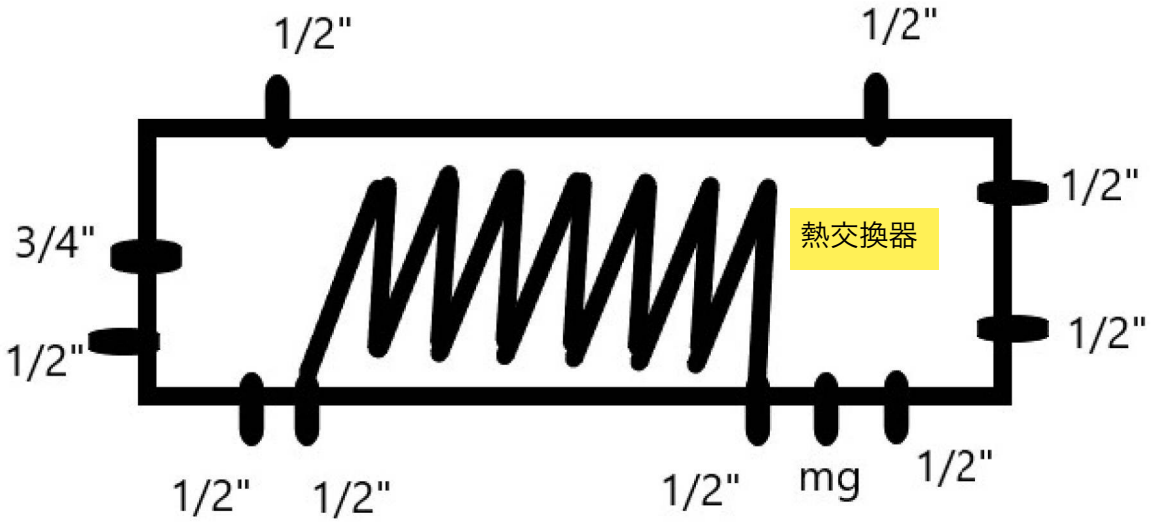
①仕様
②付属品
③組み立て方
④２つの給水方法
⑤配管図
⑥保証について

①仕様



	200L	300L
タンク長さ	1750	2550
内タンク材質	SUS304-2B/SUS316	SUS304-2B/SUS316
タンク外側材質	Color Steel Plate	Color Steel Plate
断熱素材	ポリウレタン	ポリウレタン
A(mm)	1750	2550
B(mm)	1640	2440
C(mm)	1700	1700
D(mm)	1430	1430
重量（kg）	95	114

この太陽熱温水器の仕組みについて



弊社太陽熱温水器はタンク内部に熱交換器（＝銅管）が入っています。タンク内部の熱を回収して暖かいお湯が出る仕組みです。水道圧でIN、OUTができるので高低差が不要で地上設置が可能です。

弊社の太陽熱温水器の特徴として、余分なソケットがたくさんあります。これらを活用することで薪でこのタンクを沸かすことができたり（太陽熱温水器の薪ボイラー化）、室内床暖房に配管することなども可能です。他社の製品と区別する際に「拡張性太陽熱温水器」と呼んでいます。

※屋根の上に設置することで自然落下式温水器としても活用することが可能です。

タンク内部の水は基本的に動きません。蒸発等で水位が下がって自動給水される場合のみ、新規の水が入ります。

タンク内の水が酸性に傾くと熱交換器の銅管が腐食してしまう恐れがあるためマグネシウム棒を挿してあります（マグネシウム＝水質をアルカリに保つ役割）。

また、タンク側面から電熱線が挿入されています。この電熱線とコントロールパネルを接続することで凍結防止機能や時間設定による電熱線加温等が可能になります。※Mg棒と電熱線は予めタンクに挿入されています。

②付属品

・タンク１つ

（タンクには電熱線とマグネシウム棒が含まれています）

・シリコンリング20個/30個

・電熱線カバー

・真空管カップ20個/30個

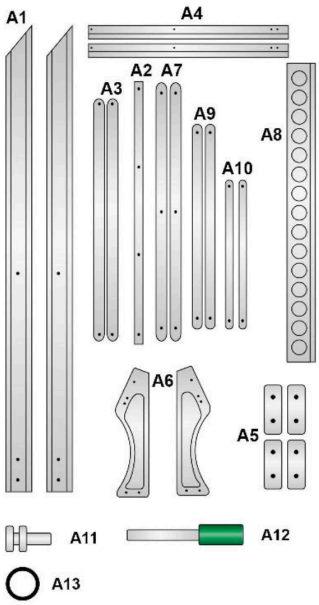
・真空管20本/30本

・フレームセット１箱

・コントロールパネルと電磁弁

・サブタンクセット（シールテープ、塩ビ管、1/2→3/4ブッシング）

PARTS OF YOUR SOLAR WATER HEATER

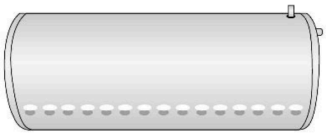


Clave	Descripcion	Cantidad
A-1	Fore leg	2
A-2	Connecting brace	1
A-3	Cross brace	2
A-4	Hind leg	2
A-5	Wind feet	4
A-6	Tank holder	2
A-7	Scissors brace	2
A-8	Tube holder	1
A-9	Sideway brace	2
A-10	Butterfly brace	2
A-11	Screw&nuts	8-16
A-12	Magnesium bar	1
A-13	Dust ring for tubes	8-36

Note:

1.You must take into account that there are left and right pieces.
2.The number of pieces varies according to your heater model.

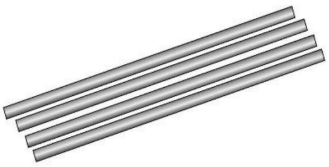
PARTS OF YOUR SOLAR WATER HEATER



No.	Descripcion	QTY
B-1	Water tank	1
B-3	Glass tubes	8-36

Note:

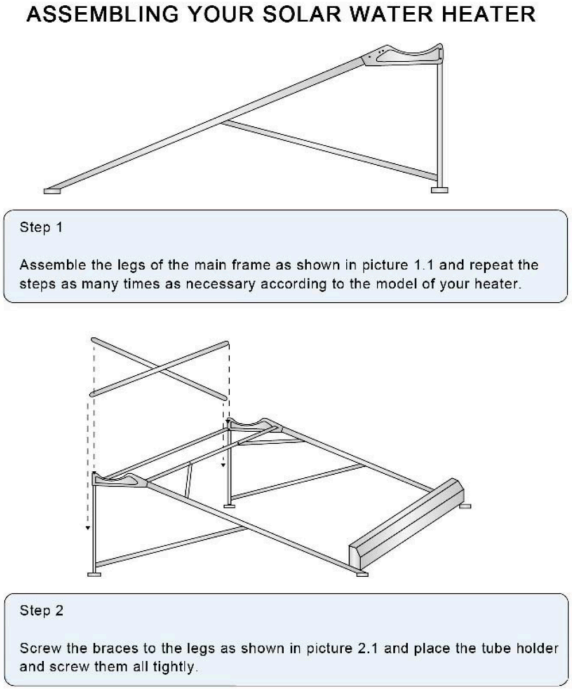
Handle tubes with care as they are very fragile.



③組み立て方

3-(1)

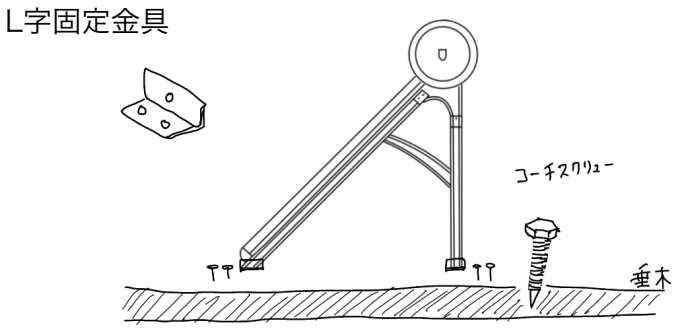
まずはフレームを作ります。ちょっと難しいので動画をご覧いただければと思います。それぞれの部品は付属のボルトナットで固定してください。

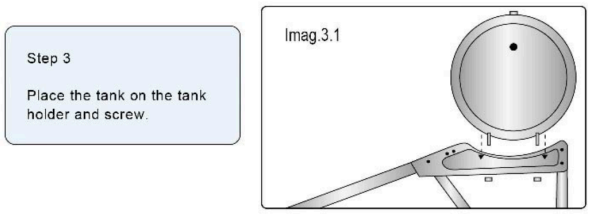


↑フレームの組み立て動画です

3-(2)

フレームが完成したら設置場所に足を固定し、タンクを乗せます





↑タンクから２本ボルトが出ているのでフレームの穴に差し込み、下からナットで締めます

地上設置の場合DIYでも可能ですが屋根上設置をする場合は必ず専門知識のある方と作業をしてください。300kg～400kgの重量物になるので大きな事故につながる可能性があります。

3-⑶真空管を差し込む
タンクを乗せ、チューブホルダーにカップを設置し、真空管を差し込みます。

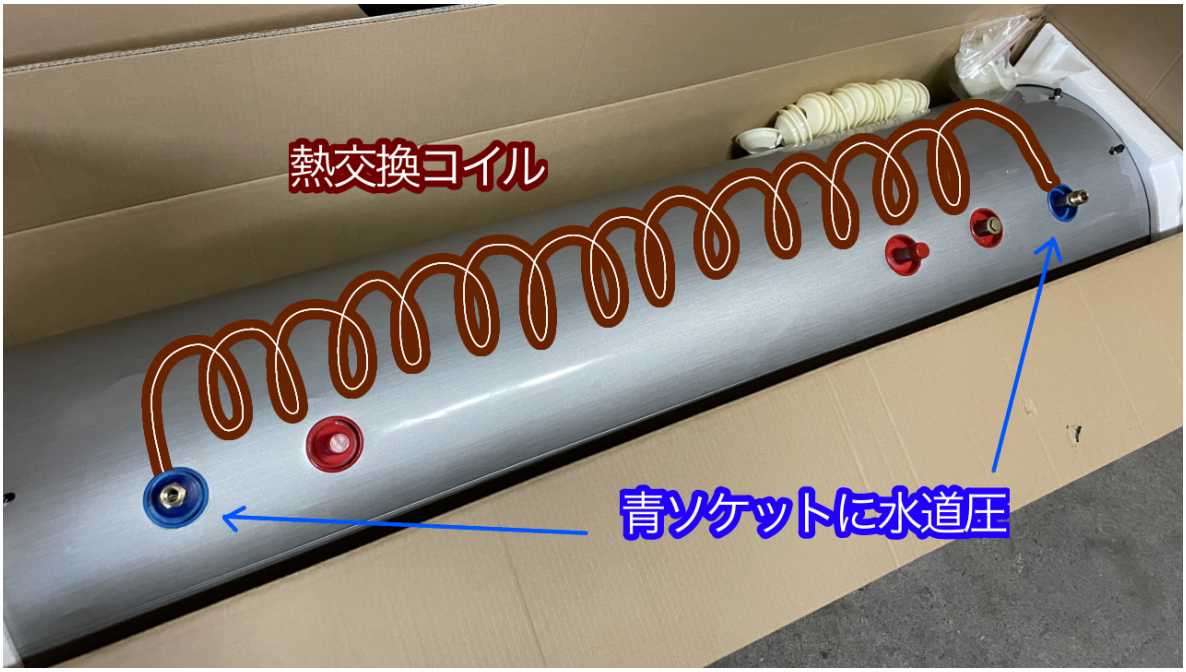
↑カップはこのように、置くだけです

真空管はタンクに差し込む前に
潤滑油として食用油等を先端に
塗布してください
このときシリコンリング（タンクと
真空管の境目を隠す目的のもの。な
くても水漏れすることはない）も取
り付けてください。

差し込んだ際、真空管がタンク内部の熱交換器に接触しますが真空管が割れない程度に押し込み、チューブホルダーをかわしてカップにはめこんでください。ちょっと力が必要です。
力みすぎてうっかり真空管を割ってしまうこともあるかと思います。
その際に怪我のないよう、長袖長ズボン、軍手、保護メガネ等で皮膚や目を出さないようにして作業をしてください。

真空管さしこみまで終わったら組み立てが完了です。

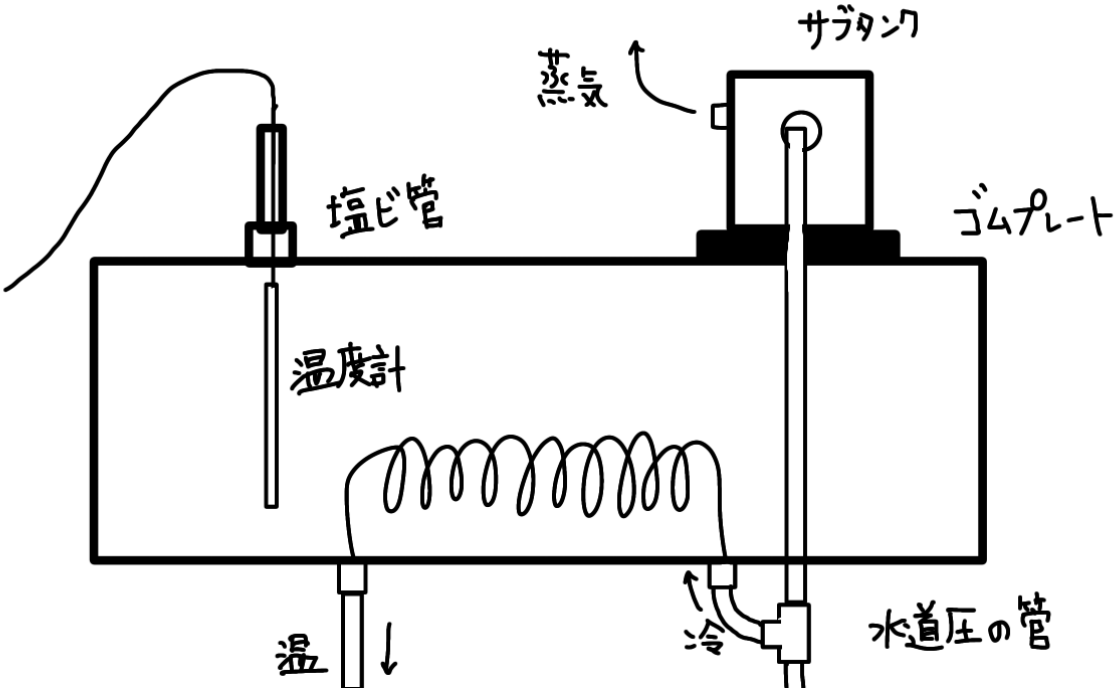
④配管方法
【基本】



タンクの青色ソケットが熱交換系統ですので水道圧配管は青色に繋いでください。どちらがinでもoutでも大丈夫です。
※自然落下方式で使用する場合は赤ソケットをout配管として繋いでください。in配管は青ソケット以外ならどこでも大丈夫です。

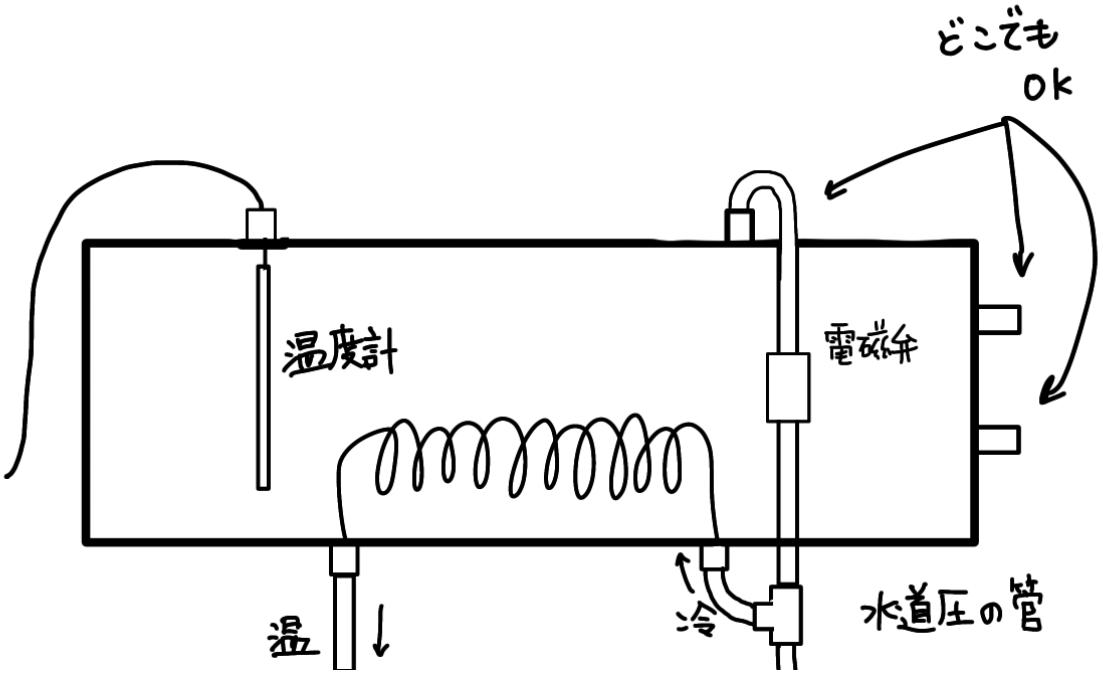
★２つの給水方法
熱交換予熱タイプの太陽熱温水器は、基本的にタンク内部の水は出入りすることはありませんので増減することはありません。しかし、温水器タンク内部の水が沸騰、蒸発等で減り、わずかに水位が下がることがあります。この際に自動給水する方法が２つあるので解説します。

4-⑴サブタンクを使った方法（推奨）
付属品のサブタンクは、内側にボールタップが入っていて水位が下がると即座に給水してくれる部品です。
タンク上部に２つのソケットがありますので、片方にサブタンクを取り付けてもう片方に付属の塩ビ管を取り付けてください。



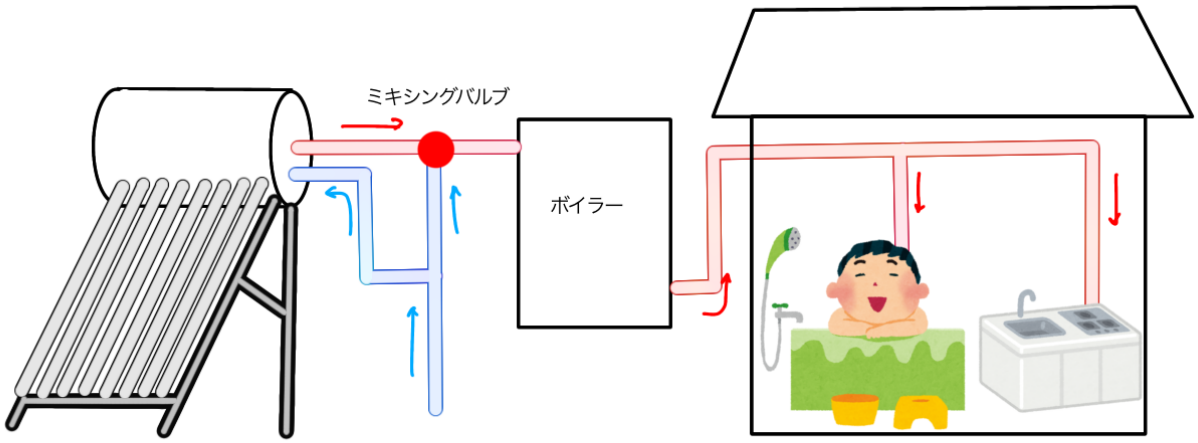
※タンクソケットが1/2インチに対してサブタンクソケットが3/4インチになっているので変換用のブッシング継手（付属）を接続してください。

4-⑵電磁弁を使った方法
電磁弁を使用して水位が下がったことを検知して給水させることができます。



電磁弁の設定について、
具体的な設定方法は右のQRから
リモコンマニュアル日本語版を
ご覧ください。

④配管方法について



弊社の「熱交換予熱型温水器」はほとんどの場合、石油ボイラーやガスボイラーと併用することになると思います。
その場合の配管図が上の図です。
動画解説は右のQRを読み取ってください。
（youtubeチャンネル「Farmer’s DIY」さんの
解説に飛びます）
重要なポイントはミキシングバルブを入れるということです。
真夏の晴れた日には太陽熱温水器内部のお湯は沸騰するほど暑くなります。石油ボイラーにそのまま99度ほどのお湯が流入するとボイラーのセンサーが故障してしまいます。
そこで、ミキシングバルブという部品で湯温を50度～60度ほどに落としてから流入させます。
※ミキシングバルブは各自でご購入ください

⑤保証について
保証については初期不良のみ対応いたします。
商品のお受け取りから１ヶ月以内に申告いただけない場合は対応できかねますのでご了承ください。
また、申し訳ございませんが破損品についてはお客様の方で処分をお願いいたします。

⑥部品の交換について
破損や故障等があった場合、必要な部品を販売する
下記連絡先にご連絡ください。
ecobakacreation@gmail.com
08012970758（SMSのみ※知らない番号からの電
が多いです）

⑦リモコンの使い方
リモコンを使うことで
・自動給水
・凍結防止
・一定温度への加温
などが可能になります。
※リモコンなしでも通常の使用は可能です

英語版はリモコンの箱に付属していますが日本語訳したものが欲しい方は上のQRから読み込んでください。

⑧参考追加コンテンツ
皆様からの質問に対するアンサーや
最新情報、温水器の応用についてなど
右記リンクに追加していきます。
よかったらたまにのぞいてみてください